

令和4年度
第1回
企画展

江戸城 事の 件簿

令和4年

入場無料・予約不要

7月16日(土) ▶ 9月11日(日)

開催時間：午前9時15分～午後5時 期間中無休

記録を守る、未来に活かす。



独立行政法人
国立公文書館
NATIONAL ARCHIVES OF JAPAN

〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園 3-2
TEL：03-3214-0621

令和4年度第1回企画展

江戸城

事件簿

江戸城は将軍とその家族をはじめとした生活空間であり、老中や若年寄ほか諸役人の政務空間でもありました。多くの人が生活し、出入りする江戸城では、盗みから刃傷沙汰まで数多くの事件が起こり、また、地震や火災などの災害にも見舞われました。本展示では、江戸城内で起きた事件、災害に注目して、当館所蔵資料の中から、事件の顛末やその後の対応、災害時の江戸城の被害状況や、復興・復旧に向けた取り組みなどをご紹介します。



えどごてんのず 江戸御殿之図

江戸城本丸御殿の「表向」と「奥」(中奥)の間取りを描いた絵図。各間の名称や広さ、畳の種類、井戸の位置等も示されています。江戸時代中後期以降の本丸御殿を描いた絵図と推測されます。内務省旧蔵。全1鋪。
※資料保存のため、原本については期間限定の展示となります(以降はパネル展示)。

かりば かすみ みききぐさ 狩場の霞(『視聴草』所収)

文政6年(1823)4月22日、江戸城西丸において西丸書院番士の松平外記が引き起こした刃傷事件について記した資料。事件の顛末及びその背景にあった同僚によるイジメの実態について、挿絵を添えて記述しています。『視聴草』は、宮崎成身が文政13年(1830)頃から30年以上にわたって書写、収集した資料をまとめた雑録。教部省旧蔵。全176冊。
※資料保存のため、会期中、展示替えを行います。



だいじょうぞうえいにつき 大城造営日記

こぶしんぶぎょうささやま
小普請奉行篠山景徳の職務日記。江戸城本丸御殿は天保15年(1844)5月に全焼し、弘化2年(1845)2月に再建されました。その際、篠山は本丸普請御用を命じられ、本丸大奥の普請に携わりました。本資料はその江戸城本丸大奥普請に関わる記録を書き留めた日記。全1冊。

